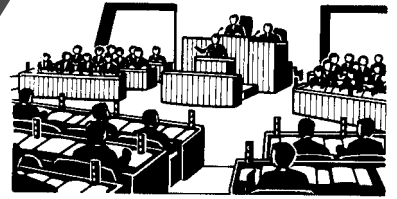


議会だより

編集：議会だより編集委員会



定例会の概要

朝霞市議会議員一般選挙後の初議会は、昨年12月18日から29日までの12日間の会期で開かれまし

た。定例会初日の18日および19日に、正副議長の選挙、常任・議会運営の各委員会の委員の選任等を行い、今後の議会構成が決まりました。

この定例会では、市長から追加提出議案を含む4議案が提出され、慎重に審議した結果、すべての議案を原案のとおり可決・承認・同意しました。また、議員提出議案が2件提出され、1件は原案のとおり可決し、1件は否決しました。

市政に対する一般質問は、13人の議員が行いました。

請願については、7件が閉会中の継続審査となりました。

なお、議会構成と議案の要旨については、広報あさか2月1日号の「議会だより」をご覧ください。

一般質問

市政に対する一般質問は、12月25日から27日の3日間に行われ、13人の議員から72項目の質問が行われました。ここでは、その中から一部を掲載しました。

質問議員（発言順）

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 獅子倉千代子 | 堀内 初江 | 佐野 昌夫 |
| 藤井由美子 | 利根川仁志 | 篠原 逸子 |
| 石川 啓子 | 田辺 淳 | 斉藤 弘道 |
| 岡崎 和広 | 浦川 和子 | 本山 好子 |
| 小山 香 | | |

総務関係

基地跡地整備計画の市民生活への影響について

藤井由美子議員 基地跡地利用は、朝霞のまちづくりの重要な課題です。ところが、国家公務員宿舎や現在使用中の公共施設建て替えのための複合施設・シンボルロード等については、市民にも議会にもまったく説明がされていません。用地購入費の概算だけが先般示されましたが、整備費と今後の維持管理費等の負担や環境・災害等について、市民生活への影響はどうなのか、具体的に説明し、市民の判断を仰ぐべきではありませんか。

審議監 基地跡地整備計画書

には、用地購入費の概算が示されたものの、施設整備費については、現段階において整備方法等の詳細が決まっていないため試算は不可能であり、財政や市民生活に及ぼす影響も具体的には見込めない状態です。

したがって、今後においては、用地の価格を見極めつつ、市財政の状況をにらみながら、整備内容等について検討を重ねてまいりたいと考えています。また、環境影響調査について、国へ実施するよう要望してまいりたいと考えています。

基地跡地利用計画について

田辺淳議員 たった8か月で市が（市民を交えず）策定した朝霞基地跡地整備計画は、国家

公務員宿舎や市役所・市民会館等の建て替えなど大型公共施設建設を市民参加の手続きなしで盛り込み、25か月（2年1か月）かけて利用計画策定委員会が作成した1年前の基地跡地利用基本計画を逸脱したものとなっています。13か月かけて多くの市民が議論した市民懇談会も無視された形です。

富岡市長のマニフェストにある「市民の声を反映した利用計画の策定（4年以内）」にも明確に反するものではありませんか？

市長 基地跡地利用計画については、平成16年の検討開始以来、基地跡地見学会、市民意見募集、基地跡地シンポジウムの開催など、さまざまな形で市民の方々の参画をいただけてきましたが、平成16年には基地跡地利用計画策定委員会、平成17年には基地跡地利用市民懇談会の設置により、より多くの市民の方々の積極的な参画を得て検討を進めてまいりました。

その結果、昨年12月に基地跡地利用基本計画最終報告書が市に提出されたもので、これは市民参画の大きな成果ととらえております。

この最終報告書の基本理念を踏まえ、今年度は基地跡地整備計画策定委員会を設置し、より実効性を高めた整備計画書の取りまとめを行いました。基地跡



地を市民のための憩いと交流の拠点として位置づけた本計画の内容は、市の新たなまちづくりの核とするにふさわしい計画であると考えており、政策実行宣言の一つの実現と考えております。

市民参画について

齊藤弘道議員 近年、地方自治体と住民が情報を共有し、政策立案段階から活発に意見交換を行い、合意形成を目指すという新しい試みが全国の自治体で行われてきた。

2004年4月に決定した「協働指針」策定を2009年2月までに行くと聞いているが、時間がかかりすぎではないか。広く市民を交え議論し、かつ迅速に結論を得るべきではないか。また、行政内部の規定である「指針」ではなく、議会の議決により決定し、住民投票制度も盛り込んだ「条例」にするべきではないか。

市の考えを問う。

審議監 協働指針について、今年度は、第4次総合振興計画に位置づけている市民参画の仕組みづくりを行うため、市民協働指針策定委員会を設置し策定に取り組んでおり、平成20年度末の策定を予定しているところですが。

現在まで2回会議を開き、内

容については、市民参画とは何かということと議論を進めているところですが、その中で、朝霞市ではまず協働指針を策定して運用し、その後、条例が必要になった場合については条例化するという考えをとっています。議論の中ではいろいろありましたが、まずは条例より指針を先行させるといったところからスタートしようということになりました。協働指針で実績をあげて、さらに必要ならば条例に転換していきたいと考えております。

安心・安全のまちづくりについて

浦川和子議員 夜間の犯罪の中で不安感のトップが「夜間の道路でのつきまといや乱暴」で、また全国で発生しているひったくり件数は、年々増加しており、夜間から深夜にかけての発生率が全体の50%を占めています。夜間の犯罪を防止するために、市民が望んでいる最も強い要望が防犯灯の設置です。夜道の安全を守るため、朝霞市の安心・安全のまちづくりのために、防犯灯の現状と見直しについて、また、青色防犯灯の設置の取り組みについて、市の考えをお伺いします。

総務部長 防犯灯は、自治会・町内会が自主的に設置してい

るもので、市では設置工事および維持管理費用を、補助金制度により支援しており、現在では65団体、約3300本が市の補助を受け、自治会・町内会の手により維持管理されています。

補助制度については平成17年度に内容を見直し、設置工事補助では限度額の拡充を図ったほか、維持管理費補助では、管理費を所有本数に応じて交付することとし、補助額の拡充を図っております。

今後も現行制度を踏襲し、地域の実情を熟知している自治会・町内会の設置判断を尊重して、設置工事および維持管理の補助をしたいと考えております。

また、青色防犯灯については、青色は波長が短いため比較的広い範囲を照らし、心理学的にも鎮静効果があるということから、防犯効果が期待されておりますが、その反面、青色に対する生理的な拒否反応や、雨天時などでは、照度が大きく低下するとも言われております。

このようなことから、市といましては、青色防犯灯について他自治体の動向や、警察署の意見等もいただきながら、調査研究していきたいと考えております。

整備計画策定委員会の開催場所について

小山香議員 朝霞市基地跡地整備計画策定委員会は、遠隔地である東京都千代田区九段南の国の施設である三番町共用会議所で開催された。このため、市民が傍聴することが著しく困難になった。

市民に傍聴させたくないから、策定委員会を朝霞市役所の庁内もしくは、朝霞市内の施設で開催しなかつたのではないかと、理由を明らかにされたい。

審議監 本年4月に設置した朝霞市基地跡地整備計画策定委員会は、市議会の代表者をはじめ、学識経験者、国、県、市の関係者、15名の委員等で構成された会議です。

会議の開催場所につきましては、委員長をはじめ委員の利便性を考慮し、大変多忙な委員の皆さんの日程調整等の必要性を勘案し、東京都内の三番町共用会議所を利用したものです。

市長 場所の選定については、この会議の何を優先させるのかということがまず第一かと思えます。やはり委員の皆さんの利便性、また、会議室の確実な確保を優先した上で設定したものと聞いています。

教育環境関係

小学校の運動会について

獅子倉千代子議員 地球温暖化が進む中、今年の夏の暑さは連日30度を超え、9月に入ってからも厳しい残暑が続きました。そういう中、小学校の運動会が行われました。9月22日市内9校で行われた運動会は、朝から30度を超える猛暑日でした。炎天下の中、長時間グラウンドにて競技をする児童や応援をする保護者の方、また、先生方にとりましても体力的にとても厳しい1日であったと思います。

10月に入るとぐっと気温は下がってまいります。小学校の運動会の時期を遅らせることはできないか伺います。

学校教育部長 運動会の実施日は各小学校において、学校の他の行事や授業との関連、幼稚園、保育園の運動会を含む地域の行事などとの関連から検討しております。

本年度も各小学校で検討した結果、例年と同様9月中旬から下旬にかけて実施されましたが、残暑が厳しい上、当日も晴天に恵まれ、大変暑い中での実施となりました。

教育委員会としては、事前に

熱中症対策など十分な対策を練って実施するよう各学校を指導してきました。また、各学校においては、十分な水分補給および健康観察、帽子の着用、体育館や校舎1階の開放等の対策を講じて実施しました。

来年度につきましても、各学校において、今年度の反省をもとに、児童の健康、安全に配慮しながら開催時期を決定するよう、学校へ働きかけてまいります。

学校の普通教室にエアコンの設置を

岡崎和広議員 今年の夏も猛暑でした。全国で数多くの方が熱中症で亡くなるほどでした。その中を勉強する子供たちの健康を考え、普通教室にエアコンの設置を強く要望します。子供たちに夏休みはありませんが6月の梅雨時、9月の残暑の時期は勉強に集中することができず、学力の低下も招きかねません。

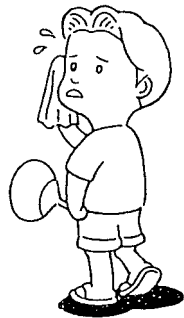
1日も早いエアコンの設置を!!

学校教育部長 エアコンの設置については、これまでに音楽室や図書室などの特別教室に計画的に設置してきました。また、普通教室では第三、第九小学校、第五中学校など騒音や悪臭で授業に影響のある学校に設置して

おります。

普通教室にエアコンを設置する場合、工事費やその後の電気代など多大な財政負担が伴うことから、現在、小・中学校の普通教室全室に扇風機を設置し、通風の確保を図っております。

また、室温上昇を抑制する効果の見られた壁面緑化を、今年度は第一、第二、第六小学校と第二中学校の計4校で実施し、効果と課題を検証しております。普通教室の暑さ対策は、これらの取り組み結果を見ながら検討し、エアコンの設置については、今後の研究課題とさせていただきますと考えております。



建設関係

第七小学校正門前の信号機設置について

佐野昌夫議員 第七小学校前の市道3号線は、朝志ヶ丘の南山通りから北朝霞公園近くの交差点にかけ、志木方面からの抜

け道になっています。小学校正門前は通過車両が多く、児童の登下校時間は非常に危険な場所になっております。もちろん交通指導員、学校の先生方にも安全配慮をしていただいています。この正門前への信号機の設置については、付近の信号機との兼ね合いもあるようでしたら、平成13年より要望した押しボタンの信号機で結構かと思っております。早急に交通安全対策として、信号機の設置の見直しについてお伺いいたします。

都市建設部長 第七小学校正門前は、登下校時に児童が集中し、前面道路も交通量の多い場所ですので、児童の安全を図るため、押しボタン式信号機の設置を朝霞警察署に要望してきましたが、このたび朝霞警察署から平成19年度中に信号機が設置できる見込みであるとの連絡をいただいたところです。

民生関係

妊婦健診の無料回数の拡大について

堀内初江議員 暮らしが苦しく、妊婦としても健診を受けることができない方々が増えていきます。厚生労働省は「出産までに14回程度の健診が必要であり、係わる費用を公費で賄い妊婦の

負担を無くし、安心して健診を受けることができるように」と平成19年に通達を出しました。当市の現状はどのような状態になっているのかその実態について、また、無料健診の回数の拡大について伺います。

健康福祉部長 妊婦健診は、母体や胎児の健康を図ることを目的として実施されており、現在、妊娠期間中の前期と後期にそれぞれ1回ずつ計2回の公費負担を行っております。

平成18年度は、受診者数1368人に対して2711回の公費負担を行っており、また、受診率は、妊娠届け出者数1433人に対して95・5%でした。回数拡大については、厚生労働省から少子化対策の一環として、自治体における公費負担の充実を図る必要性が示されており、県との調整を図りながら、公費負担を5回に拡大することを検討しております。

市においては、まずは平成20年度からの5回受診実施に向けて努力するとともに、その中で受診者の皆さんの意見や要望を十分伺いながら研究していきたいと思っております。

予防医療・予防介護の取り組みについて

利根川仁志議員 近年高齢化社会に突入した日本では、法整

備も進み平均寿命が延びることは大変結構なことだとは思いますが、その人生が心身ともに健康で実りある生活を送れるかが最も重要であると考えます。老人病と言われていた、がん、脳卒中、心臓病は年齢に関係なく生活習慣や環境によって起こるようになり、生活習慣病と名前を変えました。これからの健康施策の中では予防医療、予防介護が大変重要になると感じます。朝霞市の今後の取り組みについて伺います。

健康福祉部長 病気の発症を予防したり、病気を早期に発見する、予防のための医療に健康診断や保健指導があり、市においても、生活習慣病の予防やがんの早期発見を目的に、基本健康診査や人間ドック、成人歯科健診、骨粗しょう症予防検診、女性のヘルスチェック、がん検診等、各種健康診査と、これら健康診査後の保健指導事業として、各種健康相談や健康教室を実施しているところです。

また、昨年4月の介護保険法の改正により、要支援・要介護状態になることの防止や要介護状態の悪化を防止するため、地域支援事業が創設されました。市においては、筋力向上トレーニング事業やステップアップトレーニング教室、運動器の機能向上などの特定高齢者介護予防



事業などを実施しているところ
です。

今後におきまして、予防医
療、介護予防事業の充実に向け
て、積極的に取り組んでいき
たいと考えております。

3・4・5歳児

（幼稚園児・認可外 保育園児）に対する 支援について

篠原逸子議員 市内の3・4
・5歳児で幼稚園、認可外保
育園に通っている子供たちに対
する市の財政支援の状況は、同
年齢で公立保育園に通所の子
供たちに対する財政負担と比較
すると格差が生じており、若い
世代の家計に大変な負担となっ
ています。

これまで幼稚園児に対する支
援と認可外保育園児に対する支
援は縦割り行政の中で考えられ
てきましたが、同じ年齢の子供
たちに対する子育て支援策とし
て考えるべきであり、3・4・
5歳児の財政支援拡大を問う。

健康福祉部長 民間保育園児
童に対する支援は、就園および
入園の費用負担の軽減を図るこ
とを目的に、私立保育園就園費
として施設を通じ、児童1人に
つき年3万1000円を、また、
入園費補助金として、新入園時
の児童1人につき5000円を
交付しております。

今後は、対象年齢を同じくす
る補助事業である教育委員会所
管の幼稚園就園費補助金との公
平性にも配慮しながら、検討し
ていきたいと考えております。

学校教育部長 幼稚園就園児
童に対する支援は、国庫補助事
業の私立幼稚園就園奨励費補助
金を文部科学省基準に基づき、
保護者等の市町村民税額に応じ
て交付しております。

市の事業である私立幼稚園就
園費補助金は私立幼稚園就園奨
励費補助金に該当しない世帯に
対し、園児1人につき年3万1
000円を、また、私立幼稚園
入園費補助金は、入園料を負担
した世帯に対して、園児1人
につき5000円を交付してあり
ます。

放課後児童クラブの 保育体制の充実を

石川啓子議員 放課後児童ク
ラブは働きながら子育てをする
家庭にとって必要不可欠な施設
です。厚生労働省は10月に発表
したガイドラインの中で、運営
の向上に努めるよう明記しまし
た。

指導員の増員についてどのよ
うに考えていますか。また、根
岸台放課後児童クラブは、今年

度建て替えにより2階建てにな
りました。早急に正規指導員を
増員すべきではないでしょうか。

健康福祉部長 放課後児童ク
ラブは、各小学校区に1か所ず
つ設置しており、クラブごとに
見ると定員を超えているクラブ
もあることから、入所児童数の
推移を見ながら計画的に整備す
る必要があると考えております。
このような状況の中、今年度

は、施設の老朽化や定員が超過
となった根岸台放課後児童クラ
ブの建て替えを実施したところ
ですが、今後も超過が見込まれ
るクラブについて計画的に整備
していきたいと考えております。

また、指導員については、児
童数20人に対し1人を配置して
おり、土曜日や夏休みなどの学
校休業日の1日保育を行うため
交代勤務を実施し、障害児保育
では、加配指導員を配置するな
ど、保育体制の充実に努めてお
ります。

根岸台放課後児童クラブにつ
いては、正規職員2人を配置し
て対応しておりますが、増員に
ついて配慮してまいります。

乳幼児医療費無料化 対象年齢拡大について

本山好子議員 少子高齢化は
最も重要な課題であります。最
近隣の市や東京都の中には、中
学3年生まで医療費の無料化を
進め、国の児童手当を上乗せし
、高校卒業まで各所得における制
限なしでの支給をるところが
あると聞きました。

県の補助金も減らされるとお
伺いしましたが、人に優しいま
ちづくりを考えますと入院だけ
ではなく通院の幅も広げるなど、
乳幼児医療費の拡大推進をぜひ
行っていただきたいと思いま
す。

健康福祉部長 乳幼児医療費
支給事業については、子育て家
庭における経済的負担の軽減を
図ることを目的として、年々対
象年齢の拡大を実施し、平成15
年度には通院医療を4歳児から
現行の小学校就学前児童まで拡
大したところです。また、給付
方法についても、平成18年1月
診療分から、朝霞地区4市にお
ける窓口払いの廃止を実施した
ところです。

乳幼児医療費無料化の対象年
齢拡大につきましては、保護者
の経済的負担を軽減するととも
に、子供が必要とする医療を容
易に受けられるようになり、広
く子供の保健の向上と福祉の増

進を図ることができるところから、
有効な子育て支援策の一つとし
て、考えられるところです。

今後におきまして、現行事
業を継続しながら、他市の状況
も注視しつつ、調査研究してい
きたいと考えております。

各施策の具体的な内容につ
いては、各担当課にお問い合わせ
してください。

各種審議会等 委員に次のとおり 推薦しました

（順不同）

- 総合振興計画進行管理委員会
石原 茂 篠原 逸子
- 小池 正訓 田辺 淳
- 情報公開・個人情報保護審議
会
船本 祐志 浦川 和子
- 環境審議会
本山 好子 堀内 初江
- 廃棄物減量等推進審議会
藤井由美子
- コミュニケーションセンター運営審
議会
福川 鷹子
- 民生委員推薦会
浅川万次郎 佐野 昌夫
- 総合福祉センター運営協議会
藤井由美子
- 高齢者保健福祉計画推進会議
利根川仁志 獅子倉千代子

- 児童館運営協議会 船本 祐志
- 保育園運営協議会 藤井由美子 石川 啓子
- 国民健康保険運営協議会 船本 祐志 佐野 昌夫
- 都市計画審議会 岡崎 和広 小池 正訓
- 田辺 淳 神谷 大輔
- 小山 香
- 緑化推進会議 石原 茂 岡崎 和広
- 堀内 初江 須田 義博
- 下水道審議会 高橋 勅幸 利根川仁志
- 高橋 勅幸
- 齊藤 弘道
- 水道審議会 野本 一幸 高橋 勅幸
- 齊藤 弘道
- 学校給食運営協議会 福川 鷹子 石川 啓子
- 福川 鷹子
- 神谷 大輔
- 社会教育委員 大橋 正好
- 青少年問題協議会 須田 義博 小山 香
- 公民館運営協議会 浦川 和子
- 図書館協議会 浅川万次郎
- 博物館協議会 高橋 勅幸 獅子倉千代子
- 施設管理公社評議員会 福川 鷹子 本山 好子

平成20年第1回 朝霞市議会 臨時会

平成20年第1回朝霞市議会臨時会は、去る1月23日に招集され、会期を1日と定め開かれ、この臨時会では、市長から4議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

議案の件名と要旨は次のとおりです。

平成19年度朝霞市一般会計補正予算(第3号)

補正額は1億5165万1000円の減額で、予算総額は36億6138万9000円となりました。

今回の補正は、国家公務員の給与と改定に準じた職員の給与と改定等に要する人件費と、朝霞市議会の議員の定数を定める条例の一部改正に伴う議員報酬等について減額するものです。

原案可決(賛成多数)

平成19年度朝霞市朝霞都市計画下水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正額は59万2000円の減額で、予算総額は18億3719万3000円となりました。

今回の補正は、職員の給与と改定と人事異動に伴う人件費の減

額です。

原案可決(全会一致)

朝霞市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
一般職の国家公務員の給与と改定に準じ、職員の給与について平均0・1%を引き上げるとともに、配偶者以外に係る扶養手当を引き上げ、また、勤勉手当については、年間0・05か月分引き上げ、期別の配分を改正するものです。

原案可決(全会一致)

工事請負契約の締結について
朝霞市プラスチック類選別ライン整備工事について、新明和工業株式会社と3億4860万円に契約するものです。

工事場所/朝霞市大字浜崎390番地45

工事概要/プラスチック類選別

・圧縮梱包処理施設の整備

原案可決(賛成多数)

議会の詳細は 会議録で

会議録は、市政情報コーナー(市役所3階)のほか、図書館や各公民館図書室、支所および出張所に備え付けてあります(第4回定例会の会議録は、3月上旬に配置予定です)。

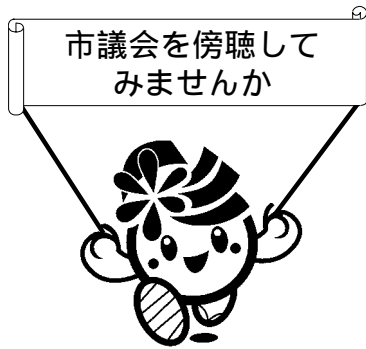
また、ホームページからもご覧いただけます。

議会を傍聴することは、市民として市政を身近に知るための最もよい方法です。皆さんが選んだ議員がどのような活動、仕事をしているかなどを十分にご理解いただけたらと思います。

市議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。ぜひ傍聴にお出かけください。

問い合わせ/議会事務局 内線2284

☎048 463 0549(直通)



次回定例会の開会日は 2月29日(金)の予定です

請願の提出は、2月22日(金)午後5時までにお願います





傍聴席入口
傍聴席の入口は、市役所庁舎玄関に向かって右方向にあります。